



あやめ



in「一期一会」

文責：生徒指導主事 櫻本直弘

第70回 卒業式 「未来へ」

3月11日(水)本校体育館において、令和7年度「第70回卒業式」が挙行されました。多数の来賓・保護者の皆様のご臨席を賜り、卒業する3年生の門出を祝福する素晴らしい卒業式となりました。卒業式は、**中学校での学びの集大成と捉え「中学校最後の授業」と表現されます**が、まさに「最後の授業」に相応しい立派な式だったと思います。

第1部の卒業証書授与式は厳粛な雰囲気の中で行われました。担任の呼名にしっかりと返事をし、卒業証書を受け取る姿は中学校生活3年間での大きな成長を感じさせるものであり、同時に**長い時間をかけて築いてきた「担任との絆」**を感じさせるものでした。

第2部は「**未来へ～溢れる感謝を～**」のテーマのもと、在校生である1・2年生とともに、卒業生としての「**最後の発表**」が行われました。卒業生一人ひとりの想いが込められた発表は、大きな感動を伴う素晴らしいフィナーレとなりました。卒業生はもとより、在校生や保護者の皆様にとっても大変心に残る素晴らしい卒業式になったと思います。

これから卒業生は、それぞれの道で新たな一歩を踏み出すこととなります。櫛形中学校3年間、あるいは義務教育9年間で培ってきたものを糧にし、今後さらに大きく飛躍していくことを期待しています。また、在校生である1・2年生には今まで「**よき先輩**」であった**3年生を目標**とし、さらにステップアップするべく日々の努力を積み重ねていくことを期待しています。

最後になりましたが、改めて3年生の皆さん、そして保護者の皆様「**ご卒業、おめでとうございます！**」





「新生」 檜形中学校 活動開始

感動のうちに幕を閉じた「卒業式」の余韻も残る中、翌日（3月12日）の朝の時間帯を利用して1・2年生合同の決起集会が開かれました。3年生が卒業し、在校生だけになると妙に体育館が広く感じられ、もの寂しい思いになります。しかし、私たちは前を向かなければなりません。**3年生が卒業したということは、同時に「1・2年生による新しい檜形中学校」が始まることを意味します。「新しい檜形中学校は4月に始まるのではなく、今この瞬間から始まる」**そんな意味がこの集会には込められているのです。

校長先生からは、これからの在校生に向けて**「『涙の尊さ』を感じられる人間になって欲しい**というお話がありました。様々な場面で涙が流れる（涙が流せる）ということは、その背景にどんな生活があったのか。その一瞬一瞬にどんな思いを込めてきたのかが表れているのではないのでしょうか。とても重要な課題を校長先生からいただいたように思います。だからこそ、「4月になったら頑張ろう！」ではなく、**「今この瞬間から頑張ろう！」**という姿勢が在校生の皆さんに求められるのではないのでしょうか。

※笹本校長先生恒例の「突然の発言指名」に対してもしっかりと対応し、多くの生徒の前でハキハキと発言してくれた1年生：小野遙斗さん、2年生：澤邊ゆかりさん、2人とも立派でしたよ。）

また、生徒会長の内田溪花さんからの話や、各学年代表（1年生：古田利空さん、2年生：山下胡桃さん）からの決意表明も行われ、最後はこれからの自分たち自身を励ますべく、応援歌『紫高の誉れ』を声高らかに歌い上げました。

今後の在校生が、そして**「新生檜形中学校」**がより良い方向に向かっていくことを予感させる、とても意味深い集会になったと思います。

